

# 8/5(金)の発表



報道発表資料の配付日時 8月5日(金)

発表項目(行事名)	令和4年度(2022年度)「少年の主張」十勝地区大会について
概要	<p>○概要・・・例年振興局において公開実施している「少年の主張」について、今年度も新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ビデオ発表による実施となった。管内から17人の参加があり、7月8日(金)に審査員を集めて協議をし、受賞者を決定した。</p> <p>○事業の目的・・・別紙要領を参照</p> <p>○審査員(敬称略)</p> <p>審査員長 十勝小・中学校長会 会長 長江 教貴          審査員 十勝中学校文化連盟 会長 島村 雅樹          十勝教育局教育支援課 指導主事 佐藤 淳一          十勝総合振興局 暮らし・子育て担当部長 鳥井 美奈子</p> <p>○審査結果(受賞者のみ)</p> <p>最優秀賞 大樹町立大樹中学校 小島 唯 (こじま ゆい)          テーマ:『思いやる心と勇気』</p> <p>優秀賞 本別町立勇足中学校 林 優奈 (はやし ゆな)          テーマ:『今の私に出来ること』</p> <p>新得町立新得中学校 持田 小葉 (もちだ このは)          テーマ:『私のペース』</p> <p>○今後</p> <p>最優秀賞を受賞した小島さんは、十勝地区代表として全道大会に参加する。          なお、全道大会も十勝地区大会と同じく映像審査により行われ、9/2(金)に札幌市で開催される北海道青少年育成大会にて審査結果の公表となる。</p>
参考	<p>○中学生の健全育成及び社会的自立を促すとともに、地域の皆さんに中学生の考えや思いを理解してもらい、青少年の健全育成や非行防止について、いかに大人が取り組むべきかを考える機会となることを期待しています。</p>
報道(取材)に当たってのお願い	<p>・参加者及び審査員への取材については、各中学校及び各団体にお問い合わせください。</p>
他のクラブとの関係	<p>同時配付          同時レク          記者レク</p>
その他	<p>○添付資料名・・・【資料1】少年の主張十勝地区大会 開催要領</p>
担当(連絡先)	<p>北海道十勝総合振興局保健環境部環境生活課道民生活係 (担当:磯崎)          TEL 0155-26-8526(直通)</p>

# 令和4年度「少年の主張」十勝地区大会開催要領

## 1 目的

少子高齢化、国際化、情報化の急速な進展等、社会や国際的な環境が大きく変化する現代社会にあつて、次代を担う少年には、心身ともに健康で他者を思いやる心を持ち、社会的に自立していける、健やかな成長が求められている。

そのためには、広い視野と柔軟な発想や創造性などとともに、物事を論理的に考える力や自らの主張を正しく理解してもらう力などを身につけることが大切であることから、少年が社会に向けての意見、未来への希望などを発表する機会を設け、少年の健全育成及び非行防止に対する道民の理解を深める契機となることを目的とする。

## 2 主催

十勝総合振興局

## 3 対象

十勝総合振興局管内の中学生及びそれに相応する学籍又は年齢にあるもの。

※国籍は問わないが、日本語で発表できること。

なお、作品は未発表、自作のものに限る。

## 4 名称

令和4年度「少年の主張」十勝地区大会

## 5 実施要領

十勝総合振興局管内の中学生を対象に意見主張の場を設定する。

### (1)実施方法

ビデオ審査により実施する。

### (2)募集

- 教育局の協力を得て、管内市町村教育委員会等を通じて、各中学校に対し、周知を図る。
- 各市町村単位、各学校単位で実施している主張大会、弁論大会等と連携した募集の他、自由公募などにより募集する。
- 広報媒体を利用した募集に努める。

### (3)発表内容

次のような内容で、心からの思いや考えたこと、感銘を受けたことなどを少年らしい自由でユニークな、飾り気のない言葉でまとめたもの。

- 社会や世界に向けての意見、未来への希望や提案など
- 家庭、学校生活、社会（地域活動）及び身の回りや友だちとの関わりなど
- テレビや新聞などで報道されている少年の問題行動、大人や社会の様々な出来事に対する意見や感想、提言など

※商業的な固有名詞の使用は極力避けることとする。

※パフォーマンスや小道具の使用を取り入れてもよい。

### (4)発表時間

5分程度（400字詰原稿用紙4枚程度）

※全国大会の規定が、学校名、氏名、タイトル等の部分は除く「作文本文の出だし」から「作文本文の終わり」までで4分30秒～5分30秒となっているため、この範囲内に収めてください。

(5) ビデオの録画

- 各学校等において、審査に使用するためのビデオを次の撮影条件等に留意して撮影・録画し、DVD-R等を利用して十勝総合振興局へ提出する。

(撮影条件)

- 学校の体育館や広めの教室・会議室など、熱意や迫力のある発表を行うことができ、無背景で撮影できる場所。室内で撮影し、逆光や影がないよう注意する。

(画面配置)

- 主張発表者が画面の中央に配置され、胸部から頭部まで主張発表者の顔や表情が鮮明に認識できる状態で映っており、正面から撮影されていること。画面比率（アスペクト比）は横長であること（16:9の比率を推奨）。

(ファイル形式)

- MP4

(留意事項)

- 主張発表者は、脱帽の上、発表すること。
- 主張発表が開始から終了まで途切れることなく収録されていること。
- 主張発表がはっきり聞き取れること。
- テロップや音声の挿入、複数動画の合成などの加工がされていないこと。
- 雑音が極力入っていないこと。
- 感染防止対策（距離の確保や消毒等）を行った上で撮影を行うこと。
- 提出前に、各学校においてDVD-R等のウイルスチェックを実施すること。

(6) 審査

- 関係機関等に、選考に係る審査員の推薦を依頼する。
- 審査により、順位付けし、最優秀者1名及び優秀者2名を決定する。

(7) 審査基準

ア 論旨

- 鋭い感性で、新鮮な主張であるか。（中学生らしさ）
- 新しい情報や視点があるか。
- 個人の体験にとどまらず、一般性・社会性があるか。
- 提案や提言を実現・実践する意欲が感じられるか。
- 論旨が一貫し、構成がしっかりしているか。

イ 論調

- 主張の内容が共感と感銘を与えているか。
- 説得力ある話し方であったか。
- 話し振りに熱意と迫力があるか。

(8) 実施月日（審査月日）

令和4年（2022年）7月上旬（予定）

(9) 表彰

最優秀者1名及び優秀者等に対して賞状等を授与する。

(10) 推薦

最優秀者を全道大会参加者として、環境生活部に推薦するとともに、最優秀者のビデオを提出す

る。

## 6 その他

- 主張発表者の原稿は400字詰原稿用紙（A4）縦書きで、本人自筆による原本（障害等による場合はワープロ可）とする。

※異なるサイズの場合、A4サイズに書き直した原稿が必要となりますので、ご注意ください。

- 応募された作品は、原則返却しないこととし、北海道に帰属するものとする。
- 原稿の書き出しについては次のとおりとする。

4 行 目	3 行 目	2 行 目	1 行 目
作 文		北 海 道	タ イ ト ル
	氏	学 校	
	名	学 年	